

令和7年度 第8回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

- 日 時：令和7年11月20日（木）午後2時～3時20分
- 場 所：市役所おもや3階会議室A301
- 出 席：（敬称略）
（委 員）（5名）石川 伊智郎、浅田 多津子、藤間 利明、室 英治、
杉村 康之
（事務局）（2名）熊谷 一茂、青木 大地
- 欠 席：（敬称略）
（委 員）（1名）西尾 克人
（事務局）（2名）柳下 豊宏、田口 敦
- 議 事
1. 報告
- ① 令和7年度 第7回検討調整会議事録・・・
（事務局：青木）議事録内容について説明。修正等無し。
- ② 活動センター事業について・・・
・（事務局：青木）「府中市環境保全活動センター事業予定一覧」に沿って、現在までに実施した事業について報告。12月14日開催予定の第7回かんきょう塾は資源循環推進課による講座となる。同課管理職が府中市のごみ処理の歴史や展望を説明し、担当職員が実際の取り組みや分別方法を説明する。事前質問への回答と当日フリー質問を設け、可能な範囲で回答する。本日時点で8名のオンライン申込あり。なお、受講生は申込不要で当日参加となっている。
・（藤間委員）資源循環推進課が実施している出前講座と差別化できる本講座の“売り”は何か。もしあればPRしたい。
・（事務局：熊谷）出前講座との違いは、管理職（課長）による説明があるところである。府中市のごみ対策について、過去・現在・未来まで話せる範囲で講話してもらえる予定である。
・（室委員）第7回に私はサポートとして入るが、当日どう動けば良いか。
・（事務局：青木）資源循環推進課が講座を実施し、当日の司会進行は藤間委員にお願いする形で調整している。
・（杉村委員）室委員には1月24日に開催される第8回かんきょう塾にて、センターの代表として一言ご挨拶を頂戴したい。修了証の授与については、室委員もしくは環境政策課管理職にて対応をお願いしたい。
・（浅田委員）事業予定一覧に記載されている参加者人数にはサポートを含むか確認したい。

- ・(事務局：青木) サポーターも含む。記載されている参加人数は、事務局と講師を除く人数である。
- ・(事務局：青木) 春の親子かんきょう塾バス見学の候補として、杉村委員に提案いただいた「狭山丘陵」周辺で検討している。具体的な見学場所は日程と合わせて詰め、候補が固まれば改めて報告する。

③ その他・・・

- ・(事務局：青木) 検討調整会委員について、今年度4月から加わった藤間委員を除き、11月14日で2年間の任期が満了となった。11月15日から令和9年11月14日までの新任期で継続いただける委員の皆様に改めて感謝する。塚原委員及び竹島委員については継続されなかつたため残念ながら今回で退任となる。委員の人数が減少しており事務局で後任を探していく必要があるが、後任候補の推薦があれば事務局へ知らせてほしい。
- ・(藤間委員) 府中市と提携している企業、すなわち法人で進めるのが良いと考える。サントリーやNECなどへ声掛けを行うのはどうか。かんきょう塾の今後を考えても幅が広がると思うし、企業にとってもPRになる。

2. 議事

① 活動センターの運営方法について・・・

前回の検討調整会での内容を反映した「(修正1) 市民協働・共創促進事業 環境保全活動センター記事案」を踏まえ、委員・事務局より以下のとおり意見がなされた。

- ・(藤間委員) 本事業を活用するうえで、市の内部に対しても200万円規模の事業として周知できる内容を用意すべきである。小規模ではワークショップだけで終わってしまう。
- ・(事務局：熊谷) ワークショップの運営委託費用について、当初は50～100万円程度を想定していたが、理想的に行うと150～200万円弱を要することが判明した。必要に応じて再来年度に同事業を再度活用することも検討だが、最終的には課の予算で回すことを目指す。また、ワークショップの成果物として、委託先の事業者に計画書を作成してもらえるのが理想である。
- ・(室委員) 事務局の方でよく考えていると思うが、朝岡教授の意見も反映させたほうが良いと思う。
- ・(藤間委員) センター発展のためにも、サポーターの育成要素を事業計画に入れてほしい。
- ・(事務局：熊谷) 啓発と教育を分けて集中的に行う手もある。現行はかんき

よう塾が一手に担っており負荷が大きい面あり。

- ・(藤間委員) 令和9年には庁舎の「はなれ」が完成予定であるが、市民交流の場として、その活用可能性も検討してほしい。
- ・(石川委員) 本事業で得た予算は、ワークショップ運営費だけでなく活動センター費にも充当できないか。また、今年度中に作る企画書とは。
- ・(事務局：青木) 本事業の予算はワークショップの運営費にのみ充てられる。
- ・(事務局：熊谷) 企画書とは、「ワークショップ前段の企画書」と「ワークショップ後にまとめる企画書（計画書）」の二層を想定している。まず事務局として行わなければならないことは、前段の企画書を完成させること。
- ・(室委員) ワークショップの開催の目的は、センターの活動をより具体的なものにすることである。そのことを忘れてもらいたい。
- ・(浅田委員) ワークショップ運営費に関して、見積や仕様を示してほしい。費用の配分が見えないとそもそも議論にならない。
- ・(藤間委員) 公共サービスは採算だけで決めないことが重要であり、環境分野も市民のための必要性で考えるべきである。市職員にもその必要性を認識してもらいたい。
- ・(石川委員) 補足として、以前ちゅうバスの100円運賃の妥当性について値上げ提案を行ったが、流れたことがあった。地域の足として役割があるが、継続には費用が必要である。そこのところの天秤が難しい。
- ・(事務局：青木) 本日配布した記事案を各自確認のうえ、次回までにご意見をいただきたい。

② その他

- ・(浅田委員) 第4回かんきょう塾の企画提案について、府中かんきょう市民の会の会報に参加者からのアンケート結果を掲載したい。お断りとご報告である。

4. その他・・・

次回は、令和7年12月19日（金）午後2時～@第2庁舎6階小打ち合わせ室での開催に仮決定。西尾委員にも都合を確認し、開催前には委員全員へリマインドメールを送付する。